

## O2-010

**幼稚園等での歯科検診にかかわる教職課程  
学生による教材開発支援と課題 — 幼児の  
健康教育支援にかかわる視角に基づいて —**

山本 智子

国立音楽大学 音楽学部 音楽文化教育学科

1. **端緒** 幼稚園等における幼児の主体的な活動を促す環境には、教材が含まれる。特に、幼児期の子どもの健康にかかわる教材では、生活のリズム、運動、食生活、心の発達にかかわる開発が進められている。なかでも、幼児期の健康教育では、自分の身体および身体の変化にかかわる感覚を育てる重要性が指摘されている。歯の健康にかかわる幼児期の教材に関して、先行研究では、噛む習慣を育てる教育、子ども自身に対する教育の在り方に関して検討されてきた。本報告では、学生を中心に開発を進めた教材およびその支援の成果ならびに課題に関して検討する。

2. **目的および方法** 本報告の目的は、歯科検診と歯科受診にかかわる教材およびその支援の検討をとおして、幼稚園等における健康教育を発展させることにある。以下では、幼稚園等における歯科検診および歯科受診に関して、子どもをどのように理解し、どのような支援が必要と考えたかを挙げたうえで、教材開発の実際を示す。これらの結果を基に、教材および支援にかかわる成果ならびに課題を検討する。

3. **結果** (1) 幼稚園等での歯科検診にかかわる幼児の理解 歯科検診を受ける子どもを理解するために、心理を理解することとした。そのうえで、幼稚園等での歯科検診にかかわる幼児期の発達を支援する遊びに関する理解を進めた。詳細については報告において述べる。(2) 幼稚園等での歯科検診にかかわる教材開発および支援の実際 教材として、幼児が実際に着用することができる(1)「白衣」と、幼児が使用することができる(2)「患者役の人形」を製作することを計画し実践した。詳細については報告において述べる。1) 白衣 幼児が着脱する白衣であるため、「歩きにくさ」や「転倒しにくさ」に配慮して、身長の高い子どもであれば腰、低い子どもでも太もも辺りに裾がくるように作成した。2) 患者役の人形 利用しやすさを考慮して、市販のパペット人形をアレンジして製作した。

4. **考察および結論** 第一の成果として、歯にかかわる身体の変化を遊びという親しみやすい経験をとおして、子ども自身が気づくことに期待をもてる教材である点が挙げられる。第二には、自分の歯と歯の健康にかかわる関係性に幼児自身が気づく効果に期待される点が挙げられる。今後の課題として、子どもの個人差をふまえると共に、学生と幼稚園等の教職員や歯科医師等の専門職と連携・協働できる支援等を発展させる必要がある。